

施工方法

(必ず施工説明書をお読みください。)

1 前面枠の取付

前面枠とボデーをセットし付属の±PWバインドねじと、±バインドネジ突起付で固定してください。
(扉、前面枠、ボデーが電氣的に接続されます。)

(図1)

2 扉の取付

扉を外した際、向かって右下の蝶番部は(図2)のように取付けてください。

(注意)

導電金具の取付方法に注意してください。("PIN↓"が扉の下側を向くように取付ける。)取付方法が異なるとキャビネットが電氣的に接続されません。

(図2)

3 扉へのアース線接続

扉とボデーは必要に応じてアース線で接続することができます。

(±PWバインドネジM5-8は銅又は真鍮製のねじに変更してください。)

※アース線および銅又は真鍮製のM5-8ねじはお客様でご用意ください。)

(図3)

4 分岐回路200Vへの組替え(1φ3W 100/200Vの場合) 組替えのブレーカは必ず2素子のものを使用してください。

(1) 分岐安全ブレーカタイプ

※リード板①をそのまま固定、リード板②を反転させてリード板①の上に重ね固定してください。

(図4)

(2) 分岐サーキットブレーカタイプ

※分岐リード板をそのまま1Pブレーカを2ヶ取外して2Pブレーカに交換してください。

(図5)

(3) 分岐スリムサーキットブレーカタイプ

※リード板③をそのまま固定、リード板④を取除き200V用分岐リード板⑤を(図6)のようにリード板③の上に重ね固定してください。

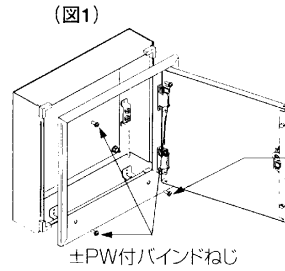
※200V用分岐リード板は別途ご用意ください。

5 WHへの配線

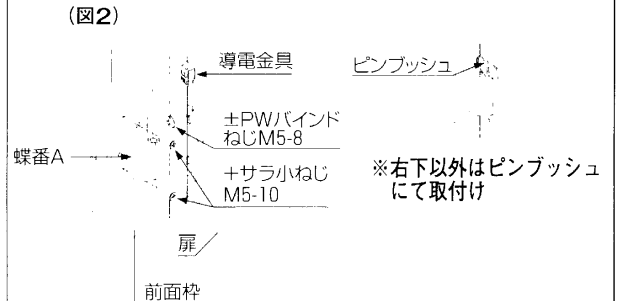
(1) テナント用標準電灯分電盤のWH2次側の配線は(図7)の様に行ってください。

WHと主幹スイッチの間は電線を通すスペースがありませんので、配線は主幹リードバーの下を通してください。

この説明書に用いた図は代表例であり、お手元の商品と一致しない場合があります。



※±バインドねじ突起付
締付トルク350~450cN・m
(約35~45kgf・cm)
※±バインドねじ突起付は、座面に突起を設け塗膜を傷つけて電氣的に接続させる為のねじです。



※右下以外はピンブッシュにて取付け

